

今回も発達障害をテーマにしたいと思います。でも子どもではなく大人の発達障害、それも男女の恋愛についてです。

米映画「モーツァルトとクジラ」の主人公ドナルド（ジョシュ・ハートネット）はタクシীর運転手をしていいますが、数字を見ると他のことが頭に入らなくなってしまう。一見、普通の若者である彼はアスペルガー障害なのです。アスペルガー障害とは、自閉症の診断基準である①対人的相互作用に問題がある②言葉、身ぶり、表情などコミュニケーションに問題がある③想像性の異常、興味、価値観が偏っている、

発達障害と恋愛関係描いた

「モーツァルトとクジラ」(2004)

こだわりがあるの三つのうち、言葉の問題がないものだとされています。知的能力の遅れがないことから、よく「言葉の遅れがない自閉症」ともいわれます。例えば、「ちよつとお風呂を見ていて」と頼んだところ、数十分して様子を見に行くと腕を組んで水があふれ出している浴槽をのぞいているといったように、人の話の文脈、行間が読みとれないために苦労する障害ともいえます。こういった問題を持つ男女が恋に落ちたらどうなるかがこの映画の主題です。



イラスト—林田真理子

ドナルドは同じような障害を持つ仲間との集会を主宰し、コミュニケーションの訓練をしています。そこに、人の言つことを文字通りに解釈してしまう美容師

のイザベル（ラダ・ミッチェル）が入会してきます。ハロウィーンをきつかけにつぎあい始める2人ですが、障害のために傷つけ合ってしまう。さて2人の恋の行方はいかに。

一般的に恋に落ちるのは簡単ですが、それを維持することは障害のある、なしにかかわらず難しいことです。これは男女のコミュニケーションの取り方の違いと進化精神医学的に説明されます。

必要だったのです。実はアスペルガー障害は、男性が女性の5倍以上多いという統計が出ています。女性がパートナーに求める、最も重要なものはコミュニケーションです。例えば、妻はその日にあったことを夫に話したいのに、多くの夫は「大事な時にしか会話をしがりません。しかも夫が対話するときは妻の感情を受け止めるという対処を指示しよう」としますが、妻は多くの場合、解決法を求めているわけではないのです。欧米では夫婦間の対話スキルをアドバイスする「カッパル・カウンセリング」が人気です。対話のコツは、男性は主張せず、女性の関心があることを質問し、そ

男と女 対話の難しさ

長崎大精神神経科学教室のホームページのアドレスは、<http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/psychtry/>